# ■ 第2章 蒲郡市の緑の現況と課題

### 2 - 1 蒲郡市の現況

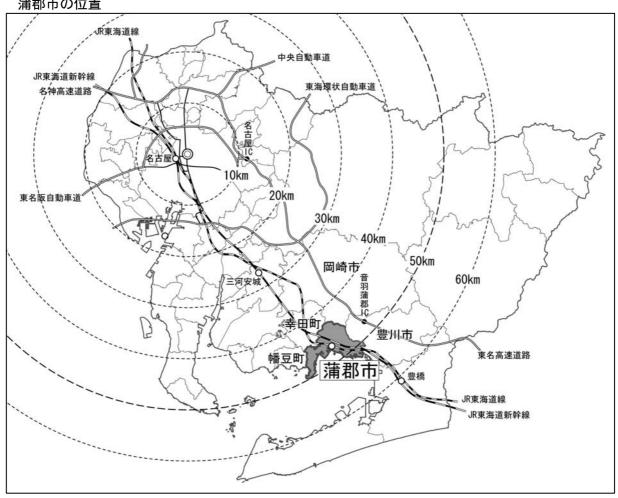
### (1)位置、沿革

蒲郡市は、愛知県の南東部の東三河沿岸部に位置し、東側は豊川市、西側は幸田町・ 幡豆町( ) 北側は岡崎市に接していて、市の中心部から主要都市へは、名古屋市へ 約50km、豊橋市へ約17kmの距離にあります。

JR東海道本線は本市の主要公共交通機関として機能していて、蒲郡・名古屋間を約 37分、蒲郡・豊橋間を約10分で結んでいます。また、名鉄蒲郡線が蒲郡~吉良吉田(吉 良町)間で運行しており、両駅間を約30分で結んでいます。

蒲郡市は合併を繰り返し、昭和38年4月1日に現在の蒲郡市が形成されました。

# 蒲郡市の位置



平成23年4月、西尾市、幡豆町、一色町、吉良町が合併予定

### (2)自然要件

#### 気象

本市は典型的な太平洋側気候の地域で、夏は高温多湿で蒸し暑く、冬は温暖で乾燥しています。また、年間を通して晴天が多く、雨の日は年間7.9%となっています。

### 地形

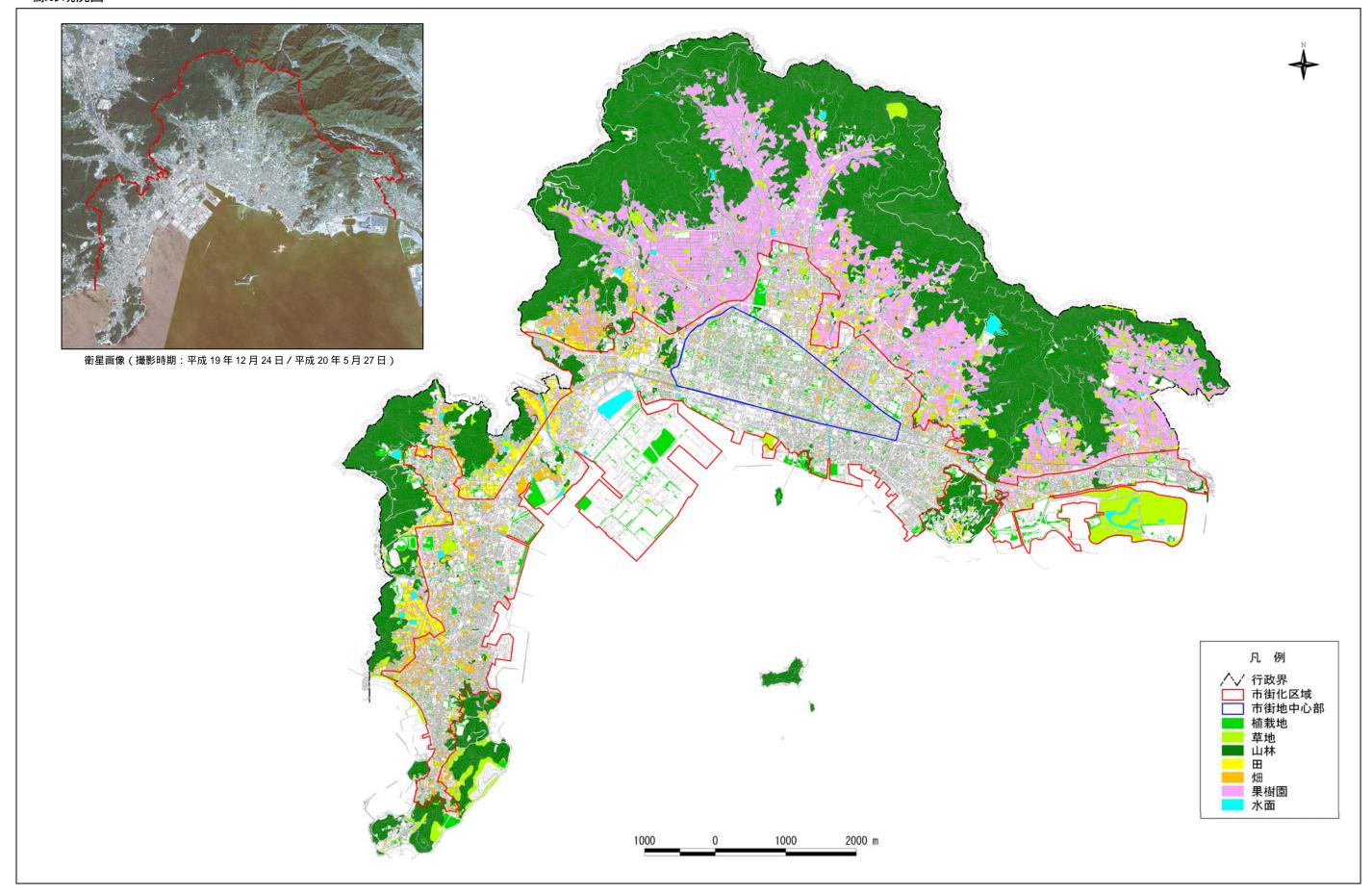
市域は三河湾の海岸線に沿って東西に長く、平野を取り巻くように山地が分布しています。山地は、五井山(約 454m)・遠望峰山(約 440m)・御堂山(約 364m)・三ヶ根山(約 325m)が代表的なもので、山頂の高さは比較的揃っていますが、山地は侵食作用によって地表が削られ、山地斜面はやや急となっています。また、三河湾には竹島・三河大島・小島・仏島などの島々があります。

### 緑の現況量(緑被面積\*・緑被率\*)の計量

市域における緑被面積は3,434.70haで、市域の約60%が緑で覆われています。そのうち、山林と植栽地の合計は2,089.81haで、市域面積の約37%が樹林地となっています。

また、市街化区域\*の緑被面積、緑被率は、463.26ha、22.59%ですが、市街地中心部\*をみると、緑被率は12.98%となっています。

	市	域	市街化[	区域	市街地中	心部	
区分	面積(ha)	比率 (%)	面積(ha)	比率 (%)	面積(ha)	比率 (%)	備考
植栽地	147.48	2.60	111.04	5.41	18.32	6.54	施設緑地、屋敷林など
草地	262.99	4.63	108.68	5.30	3.32	1.19	
山林	1,942.33	34.19	45.30	2.21	0.00	0.00	
田	57.32	1.01	15.39	0.75	0.40	0.14	
畑	182.34	3.21	96.57	4.71	8.20	2.93	
果樹園	775.16	13.64	55.91	2.73	3.82	1.36	ビニールハウス含む
水 面	67.08	1.18	30.37	1.48	2.29	0.82	
緑被面積計	3,434.70	60.46	463.26	22.59	36.35	12.98	
合 計	5,681.00		2,051.00		280.00		



#### 土地自然特性

### 良好な植物群落など

本市は、暖帯性植物\*の繁茂する地域で、シダ植物種をはじめ豊富な植物相であると言えます。中でも、竹島の植物は、対岸とはまったく異なり、熱帯雨林を思わせるような植物相であり、国の天然記念物に指定されています。

#### 野生動物生息地など

本市は渡り鳥のルートになっていることや果樹園が多いことから野鳥の宝庫となっていて、各地で様々な野鳥を見ることができます。

貴重な野生動物では、三ヶ根山に生息するミカワギセル(愛知・三重・静岡の3県のみ生息)と竹島に生息するシバタヒロクチコギセル(生息地として北限)は特に珍重な 陸産貝類です。また、三河大島のナメクジウオは日本の生息地の北限と言われていて、 国の天然記念物として指定されています。

竹島に生息するキセル貝の一種

#### 良好な水辺・湧水地など

本市には、総延長約 47km の海岸線があり、以前は、小わん曲の砂浜と突き出した岩石海岸とが交互に組み合わさり、島々とともに美しい自然景勝地でしたが、現在は大半が防潮堤に覆われています。そうした中で、竹島、西浦海岸などは、国定公園に指定された自然の海岸が残り、景勝地として多くの観光客が訪れています。

#### 伝統的・歴史的風土を代表する緑・水辺など

本市は、伝統的に干ばつになることが多く、各地に雨ごい神事が伝わっています。また、千載和歌集\*の編者として有名な藤原俊成\*卿が竹生島(滋賀県・琵琶湖)より勧請した竹島にある八百富神社社叢は、国の天然記念物として指定されています。また、神ノ郷町には、戦国時代に鵜殿氏\*の居城であった上ノ郷城跡があります。

#### 文化的意義を有する緑・水辺など

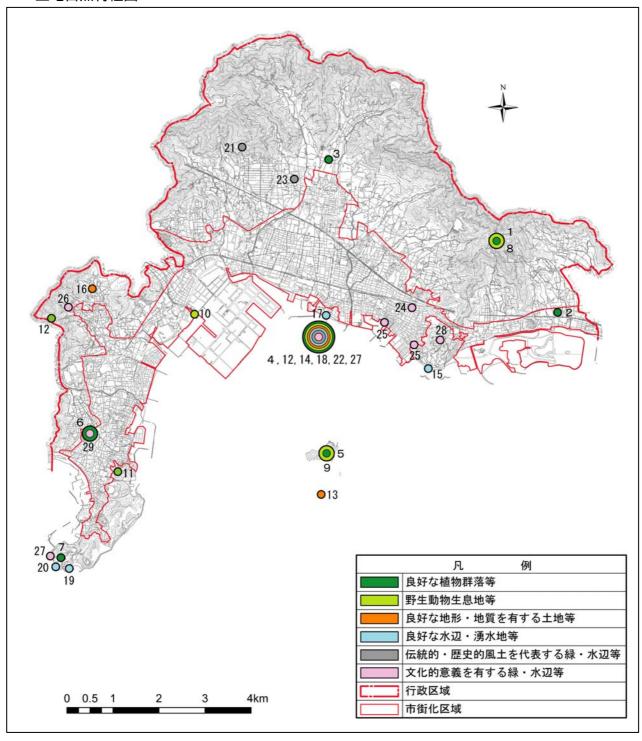
本市は、「海の眺めは蒲郡」と鉄道唱歌で歌われた景勝地で、明治末期に竹島海岸に建てられた料理旅館「常磐館」からの眺めは格別なもので、大正、昭和期にわたり菊池寛\*、志賀直哉\*らの文人の作品の中に描写されています。また、絢爛豪華な山車を海中に引き入れる三谷祭は、「天下の奇祭」と謳われ、市の無形民俗文化財\*に指定されています。

# 土地自然特性調書

番号	区分	名 称	備考
1		御堂山のボダイジュ	市の天然記念物
			(ボダイジュ)
2		ナギの大木	市の天然記念物
3	白权炒姑伽兴兹签	清田の大クス	国の天然記念物
4	良好な植物群落等	八百富神社社叢	国の天然記念物
5		三河大島	
6		無量寺の大クス	市の天然記念物
7		西浦園地	
8		ヒメハルゼミの生息地	県の天然記念物
9		大島ナメクジウオ生息地( )	国の天然記念物
10	取头动物头自业学	拾石川河口周辺	
11	野生動物生息地等	稲生山	
12		ミカワギセル、シバタヒロクチコギ	
		セルの生息地	
13		仏島	
14	良好な地形・地質を	八百富神社社叢	国の天然記念物
15	有する土地等	三谷海岸	
16		三河地震による地割れ	市の天然記念物
17		竹島海岸	
18	÷ +2 +>   \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	八百富神社社叢	国の天然記念物
19	良好な水辺・湧水地等	西浦海岸	
20		<sup>はしだはな</sup> 松島遊歩道・橋田鼻遊歩道	
21	伝統的・歴史的風土を	型 山	
22	代表する緑・水辺等	八百富神社社叢	国の天然記念物
23	これなるが、小位は	上ノ郷城跡	
24		天白神社の神楽芝居	市の無形民俗文化財
25		三谷祭	市の無形民俗文化財
26	文化的意義を有する	あじさい園地	
27	緑・水辺等	名古屋城石垣の採石地	
28		こうぼうさん 弘法山	
29		無量寺	市の天然記念物

昭和43年以降の調査では生息が確認されていませんが、現在も調査を継続しています。

### 土地自然特性図



# (3)社会要件

#### 人口・世帯数

本市の人口は、平成17年国勢調査によると82,108人となっています。

人口の推移をみると、昭和 60 年をピークに減少傾向を示していましたが、平成 12 年から 17 年にかけては横ばいとなっています。一方、世帯数については一貫して増加傾向にあり、平成 17 年は 27,644 世帯で、世帯あたり人員は 2.97 人となっています。

/r:		人		()	面積	人口密度
年	世帯数	総数	男	女	(km <sup>2</sup> )	(人/km <sup>2</sup> )
昭和40年	17,479	81,112	36,951	44,161	51.09	1,587.6
昭和45年	19,777	82,868	38,832	44,036	51.99	1,593.9
昭和50年	21,316	85,282	40,851	44,431	53.57	1,592.0
昭和55年	22,713	85,294	41,060	44,234	53.85	1,583.9
昭和60年	23,394	85,580	41,257	44,323	54.18	1,579.5
平成 2年	24,174	84,819	41,087	43,732	55.01	1,541.9
平成 7年	25,029	83,730	40,632	43,098	55.36	1,512.5
平成12年	25,800	82,108	39,822	42,286	56.00	1,466.2
平成17年	27,644	82,108	40,139	41,969	56.81	1,445.3

資料:国勢調査

### 人口集中地区(DID)\*

人口集中地区(DID)面積は、平成17年において14.1km²で、昭和60年より2.5km²(21.6%)拡大しています。この間のDIDの変遷を見ると、市中心部と形原・西浦地区の既存の市街地の中間域などにおいて市街化が進展しています。一方、DID人口密度は減少傾向にあります。

年	D	ID人口 (人	.)	DID面積	DID人口密度
4	総数	男	女	(km <sup>2</sup> )	(人/km²)
昭和60年	51,944	24,933	27,011	11.6	4,478
平成 2年	52,052	25,066	26,986	12.6	4,131
平成 7年	51,452	24,814	26,638	12.8	4,029
平成12年	53,501	25,865	27,636	13.6	3,937
平成17年	54,420	26,493	27,927	14.1	3,849

資料:国勢調査

### 地目別土地利用

本市の土地利用は、平成 19 年では森林が市域の 30.5% (1,730ha) を占め、宅地が 21.0% (1,193ha) 農用地が17.8% (1,013ha)となっています。

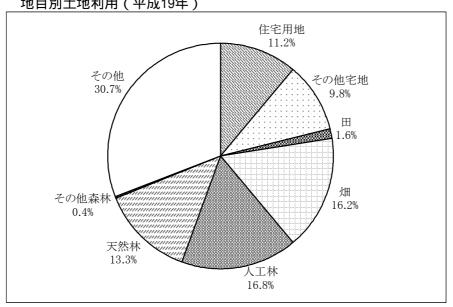
平成9年~19年までの推移を見ると、宅地では住宅用地が10.6%、その他が4.9% 増加しています。また、農用地では田が19.6%減少しているのに対し、畑は11.1%増 加しており、農用地全体では増加傾向にあります。森林については、人工林\*、天然林\* ともほぼ横ばいとなっています。

単位:ha

年 次	市全体	宅	地		農用地	<u>t</u>		森林		その他
平 认	面積	住宅用地	その他	田	畑	採草放牧地	人工林	天然林	その他	での原
平成 9 年	5,536	578	528	112	831	_	967	762	13	1,745
10	5,543	583	537	108	825	_	964	758	13	1,755
11	5,543	590	547	104	813	_	955	766	13	1,755
12	5,600	600	546	98	841	_	955	766	14	1,780
13	5,600	601	550	96	881	_	956	764	13	1,739
14	5,681	605	548	93	877	_	955	764	13	1,826
15	5,681	611	565	91	881	_	955	763	13	1,802
16	5,681	620	553	97	900	_	954	763	13	1,780
17	5,681	626	551	96	900	_	954	763	13	1,778
18	5,681	632	555	92	926	_	953	755	22	1,746
19	5,681	639	554	90	923	_	953	755	22	1,745
H9→19年出	増加率	10.6%	4.9%	-19.6%	11.1%	_	-1.4%	-0.9%	69.2%	0.0%

資料:土地に関する統計年報

地目別土地利用(平成19年)



### 2-2 蒲郡市の緑の現況

### (1)緑地の現況

#### 緑地の現況

### )都市公園

都市計画決定された都市公園は、総合公園 1 箇所、近隣公園 5 箇所、街区公園 25 箇所、都市緑地 1 箇所があり、このうち中央公園(総合公園) 星越公園(近隣公園)の一部、本町公園、五反田公園(街区公園)を除き、30 箇所、21.88ha が供用されています。

### ) 公共施設緑地

公共施設緑地としては、大塚海浜緑地や蒲郡緑地などの港湾緑地や、さがらの森、橘丘里山緑地などの里山\*や、国定公園内の園地\*などが本市の特性にあった配置がされています。

#### ) 民間施設緑地

民間施設緑地としては、主に社寺境内地がありますが、これらは住民の憩いの場や伝統的な祭りなどを通じた地域コミュニティづくりの場として重要です。

### ) 地域制緑地

市街化調整区域\*を中心に広がる樹林や農地などの自然的環境は、自然公園の指定地域や農業振興地域農用地区域、保安林、地域森林計画対象民有林などとして、法や条例に基づいて保全されています。

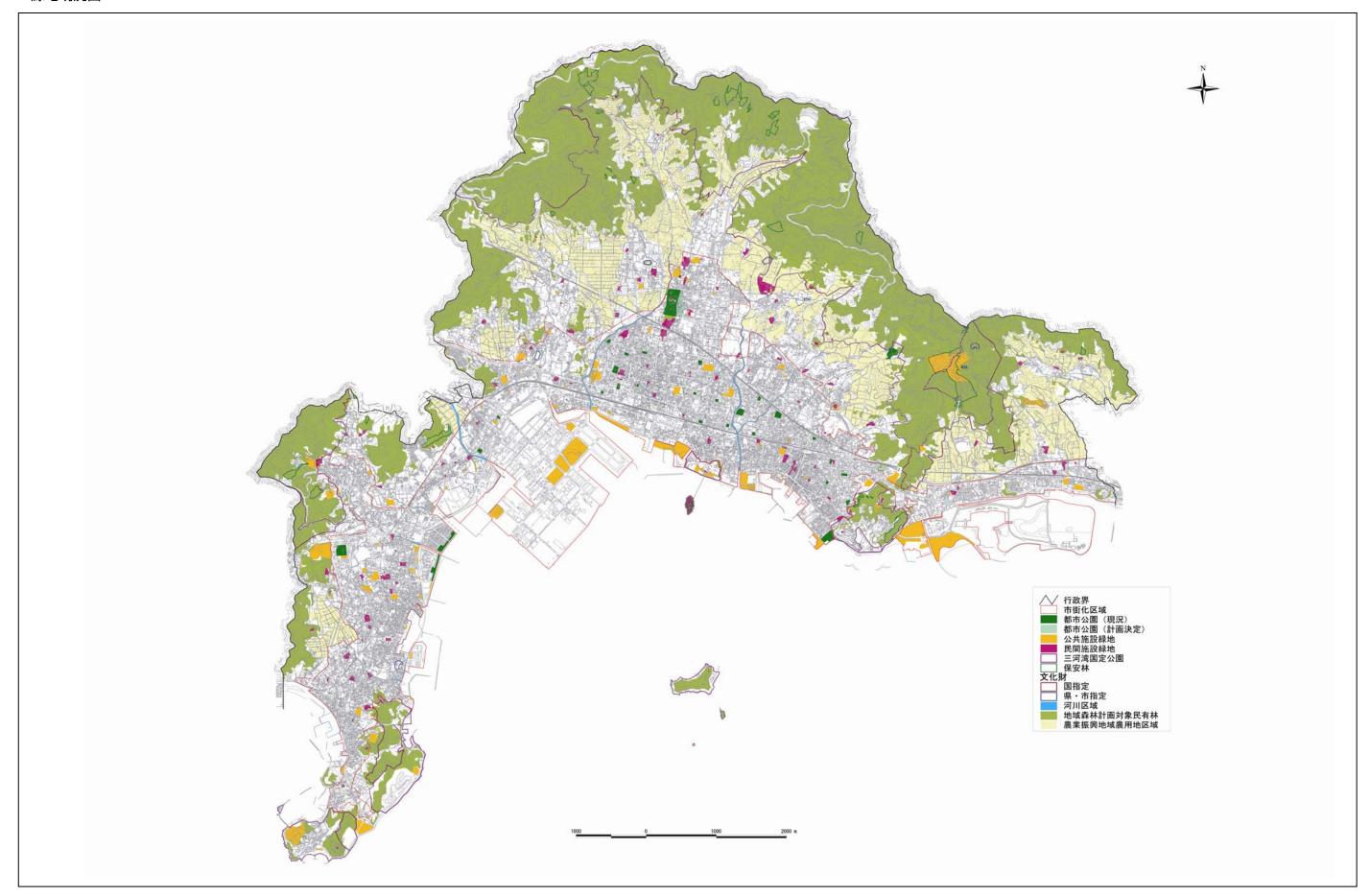
### 緑地現況量

緑地の分類で定義した緑地の現況量は、緑地全体では 2,981.79ha と市域 (5,681ha) の約 52%を占めています。これを市街化区域内で見ると、緑地が 152.70ha あり、市街 化区域全体 (2,051ha) の約 7 %となっています。

施設緑地は市域全体で183.86ha あり、このうち112.33ha が市街化区域内にあります。

	_						現在(平	成21年	.)	
				/T \/n		市街化区	域		都市計画区	∑域
	年次			(,	人口:71,24	3人)	(.	(人口:82,108人)		
	谷も	也種另	11		現	!況量		瑪	況量	
	冰儿	ピ作里力	'J		ᄯᇊ	面積	m <sup>*</sup> /人	箇所	面積	m <sup>*</sup> /人
					箇所	(ha)		固加	(ha)	
				街区公園	23	7.05	0.99	23	7.05	0.86
			住区基幹公園	近隣公園	5	7.03	0.99	5	7.03	0.86
				地区公園			0.00			0.00
			都市基幹公園	総合公園	1	5.90	0.83	1	5.90	0.72
		都		運動公園			0.00			0.00
		市	基幹公園 計		29	19.98	2.80	29	19.98	2.43
	施	公	  特殊公園	風致公園			0.00			0.00
	設	遠		歴史公園			0.00			0.00
	緑		広域公園				0.00			0.00
	地		都市緑地				0.00	1	1.90	0.23
			広場公園			0.00			0.00	
緑			  緑道				0.00			0.00
'			公園 小計(A)		29	19.98	2.80	30	21.88	2.66
			市公園		33	42.64	5.99	47	80.11	9.76
地			他の公共施設緑	地	79	27.81	3.90	117	42.37	5.16
			施設緑地(B)		112	70.45	9.89	164	122.48	14.92
	16-		施設緑地(C)		89	21.90	3.07	151	39.50	4.81
			也 合計(A+B+C)		230	112.33	15.77	345	183.86	22.39
	地		保全地区				0.00			0.00
	域		地区				0.00			0.00
	制	_	緑地地区				0.00	_		0.00
	緑		その他法によるもの		2	39.17	5.50	6	4,279.52	521.21
				2	39.17	5.50	6	,	521.21	
	_  条例等によるもの			3	1.21	0.17	10	3.51	0.43	
	地域制緑地 小計			5	40.38	5.67	16	4,283.03	521.63	
	地域制緑地間の重複				40.00	0.00		1,485.08	180.87	
± <i>t</i> - =			录地 合計		5	40.38	5.67	16	2,797.95	340.76
			制間の重複			0.01	0.00		0.02	0.00
緑均		総計	2年初についてけ	70 75 40	235	152.70	21.43	361	2,981.79	363.15

公園の種類については、p.70~75,105を参照してください。



# (2)緑化の状況

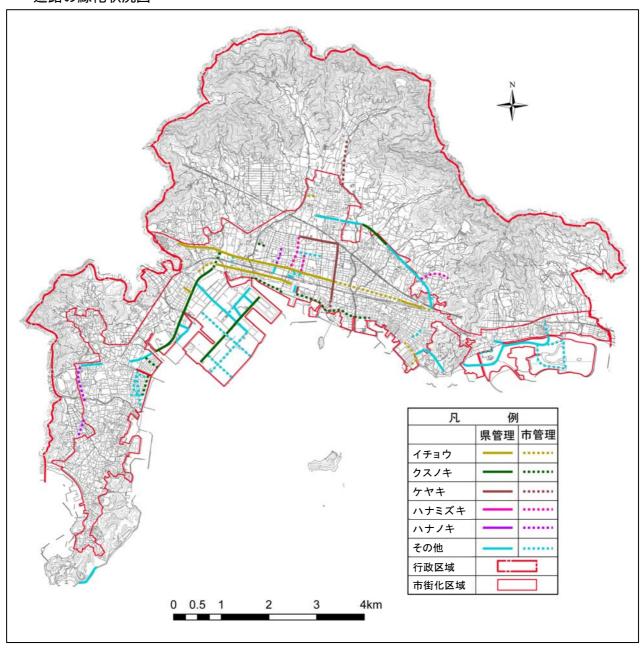
### 公共施設の緑化状況

### ) 道路の緑化状況

街路樹などによる道路緑化の状況は下図のとおりで、国道・県道や主要な市道、埋立 地などで街路樹が整備されています。

樹種については、オレンジロードはケヤキ、市役所通りはイチョウ、一般国道 247 号はヤマモモ、マリンロードはクスノキで概ね統一されており、市街地ではハナノキやハナミズキが主として植樹されています。

### 道路の緑化状況図



### )河川の緑化状況

市内の河川のうち、西田川では西田川公園に接する部分に、また肥川では寺戸公園に接する部分に親水空間\*が整備され、拾石川では桜の並木が植えられるなど、地域に親しまれる川づくりが行われています。



西田川の親水空間



拾石川の桜並木

### ) その他公共施設の緑化状況

市役所では、平成 22 年度から試験的に庁舎東側壁面にアサガオやゴーヤなどのツル性植物で「緑のカーテン<sup>\*</sup>」づくりを行っています。

市民会館では、緑の多い前庭が設置されており、 利用者などにとって憩いの空間となっています。

南部小学校や竹島小学校などには、敷地内に比較的まとまった規模の植栽地があり、児童などにとっての身近な自然とのふれあいの場所となっています。

中央小学校の、北面では街路樹と一体となった緑豊かな景観が見られるほか、落合川に面する西側に も植栽地が設けられ、川の自然と調和した景観となっています。

市民病院は、敷地内に多くの植栽地が設けられ、また屋上緑化も取り入れるなど、緑豊かな施設となっています。



市役所の植栽地



市民会館の前庭



南部小学校敷地内の植栽地



市民病院の屋上緑化



緑豊かな中央小学校北側の景観

### 民有地の緑化状況

本市では、3地区(春日浦地区、ラグーナ蒲郡地区、民成工業用地地区)で地区計画\*が策定されていて、いずれの地区も敷地境界からの壁面後退距離が定められ、ゆとりある景観形成が行われています。また、春日浦地区では、垣又は柵を設置する場合に生垣あるいは透過性フェンスなどとすることが義務づけられています。







ラグーナ蒲郡地区(海陽学園)



ラグーナ蒲郡地区(マンション)

### (3)緑のまちづくりへの支援の状況

### あいち森と緑づくり税\*

愛知県では、平成 21 年度から「あいち森と緑づくり税」を導入し、この税を活用した森林の再生、里山の保全・活用、都市の緑の保全・創出、環境保全活動などを実施しています。

本市では、地域活動団体 (山・人げんき会、橘丘里山緑地を愛する会)と協働で里山の整備を予定しています。

#### 緑の街並み推進事業

平成 21 年度から導入された「あいち森と緑づくり税」を財源に、愛知県が行う「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業\*」に基づく間接補助事業として、本市では蒲郡市緑化事業助成金制度(緑の街並み推進事業)を行っています。

この事業は、民有地の建物又は敷地の緑化などを進める事業で、優良基準など必要な要件を満たすものを対象に、助成金を交付するものです。

#### がまごおり市民企画公募まちづくり事業助成金

地域の多様な活動主体が公共の領域をともに担い合う「新しい公共」の考え方のもとに、自治会・市民活動団体が自主・自発的に行う「蒲郡市のまちづくりに役立つ公益的事業」に対し、市民からの寄付を含めた「がまごおり協働まちづくり基金」から事業の経費を助成するものです。

## (4)緑のまちづくりの市民参加の状況

蒲郡市公共施設里親制度(アダプトプログラム)

アダプトプログラムは、市民(里親)がボランティアとして道路、公園などの公共施設(養子)の美化活動などを行うもので、市側はボランティア保険への加入や清掃道具の提供などのサポートを行っています。年々加入団体は増え、平成 22 年度には下表に示す活動が行われています。

蒲郡市公共施設里親制度に基づく市民活動の状況(平成22年4月)

団 体 名	会員数 (名)	管理する公共施設	活動状況 (年回数)
蒲形地区ボランティア	21	中央公園・旭公園・榎田公園・	7
いきいきクラブ	31	御馬公園・マリンロード・街路	20
ガーデニング	31	樹	7
マーガレットクラブ	40		6
四季クラブ	8		2
ガーデンの四季(榎田公園)	17		2
なごみ会	20		
(個人)	1		
知柄総代区	10		
蒲郡商工会議所港町ボランティア会	10		
すみれ	26	向山公園・三河三谷駅駐車場	6
太陽クラブ	5	北新田緑地・春日浦公園	3
レインボークラブ	7		8
かすがうら 13 くみ	6		4
クリーン・パトロール隊	30	蒲郡駅前(南・北)広場	月1回
みらいあグループ	100	海岸公園(リフレッシュパークみらいあ)	週1回
合計	363		

### その他、緑のまちづくりの市民活動団体

がまごおり市民まちづくりセンターなどの情報をもとに、市内で緑のまちづくりに関する市民活動を行っている団体の概要を整理すると、下表のとおりとなります。

### 緑のまちづくりに関する市民活動団体

団体名	設 立 年月日	会員数	団体の目的、活動内容・事業内容
未来塾	平成8年 7月31日	14 名	二級河川"拾石川"の環境美化に努める。 ゴミ・空き缶拾いや草刈などの清掃、植栽、散策路の整備な どのボランティア活動。 拾石町スポーツ広場に市民が集うような広場づくり。
マーガレットクラブ	平成 12 年 4 月 1 日	35 名	観光都市蒲郡に訪れる人々や市民のために、美しく、心やすらぐまちづくりを目指す。 ・花苗育苗・定植作業 ・担当者によるガーデニング講習 ・花、緑文化の認定試験、受験 ・ボランティア活動、イベントへの参加

緑のまちづくりに関する市民活動団体〔続き〕

団体名	設 立 年月日	会員数	団体の目的、活動内容・事業内容
春日桜会	平成 15 年 2 月 1 日	30名	春日桜会は自然と緑を大切にし、春日山の桜に愛情を感じ誇りある"ふるさと"公園づくりで市民の心和む園にする。また、活動を通して会員相互の親睦を深める。
橘丘里山 緑地を愛 する会	平成 16 年 4 月 1 日	65 名	橘丘里山緑地の環境保全・整備を行い、市民のふれあいの場、自然観察の場を提供するためのボランティア活動を行う。 ・里山の環境保全:草刈、雑木の伐採、花壇の手入れ、遊具管理を定例作業として実施。 ・自然とのふれあい、地域への貢献、子供達と市民のふれあいの場をつくる。 ・平成21年度の事業計画としては、カブト虫の飼育と観察、サツマイモの植付とイモ掘り、焼きイモパーティーの開催、コスモス、菜の花畑、藤棚の設置。
さがらの 森もりク ラブ	平成 17 年 4月1日	32名 (賛助 会員: 6名)	故郷の里山「さがらの森」の貴重な自然環境を保全し、自然 学習や体験の場への活用を図る。 ・施設巡回、入口施錠の管理(毎日) ・除草など整備作業 ・竹炭焼き作業 ・森の文化祭への参画
尺地川・蛍の会	平成 21 年 4月1日	19名	尺地川と蛍を育てる作業を通じ地域の人の輪を作る。 川のそうじ:ゴミ拾い、草刈り、きれいにする啓発活動 蛍を守る:蛍の養殖、エサ、環境作り
山・人 げんき会	平成 21 年 4月1日		三谷町財産区が所有する山林などで人が自然と共生する空間、「やさしい里山」づくりを目的とする。 ・里山を元気にするために植樹・草刈りなどをする。 ・人を元気にするために散歩道などを整備する。 ・ボランティア活動の育成をする。 ・その他目的達成に必要な活動をする。
がまごお り花フル 会	平成 22 年 2 月 1 日	200 名	観光交流市蒲郡のまちを花で美しく飾り、花を愛する心を育てることを目的とする。 浦郡市の玄関、駅前を花で飾り、市民、並びに観光客に見てもらう。

### ミニ博物館構想による生涯学習のまちづくり

「ミニ博物館構想」は、蒲郡市生涯学習推進計画 2005(改訂版)に基づき、各公民館区内にある文化 財や伝統産業、古い民家、美しい庭・まちかど、自 然などの特色ある事例を"ミニ博物館"として指定 し、特色あるまちづくりをしていこうという取組です。平成 22 年 3 月現在、大塚地区、三谷地区、東部地区でガイドマップの作成が行われています。



大塚地区に設置された案内表示板

### 環境教育

### )「こどもエコクラブ\*」支援事業

環境庁(当時)は平成7年6月に「こどもエコクラブ」事業を提唱し、子どもたちの地域の中での主体的な自然学習や実践活動を支援していて、自然学習施設の割引サービスやわかりやすい自然学習プログラムを受講することができます。本市では3クラブ29人が登録し、ユニークな活動が行われています。

### ) 蒲郡市なんでも出前講座

「蒲郡市なんでも出前講座」は、市が行っている業務の中で、市民が聞きたい内容を講座メニューから選んでもらい、市の職員が講師となり市民の所に出向き、説明などを行う制度です。環境教育の分野では、「地球温暖化」、「蒲郡市の環境」、「生活排水対策のすすめ」、「ごみ出しマナー教室」の4つが用意されています。

#### ) 里山自然観察会

里山で出会える生物を、見て、聞いて、嗅いで、触って、味わうなど、五感を使い、自然のすばらしさを体験する場を提供するため、本市では平成 15 年度からさがらの森で里山自然観察会を実施しています。平成 22 年度は 14 人の親子が参加し、カラスの弁護士、渥美守久先生の指導で、さがらの森の散策やクラフトを楽しむなど、里山の自然を満喫しました。

# 2-3 緑の現況の解析・評価と課題

# (1)解析・評価の方法と視点

都市において緑が果たしている機能は、環境保全、レクリエーション、防災、景観形成の4つに大別されます。そこで、これら4つの機能別に、下表に示す視点に基づいて現況の緑を評価し、それらを重ね合わせて、総合的な緑の解析・評価を行います。

緑の機能	機能ごとの緑の定義	評価の視点		
環境保全	地球環境問題への関心の高	i ) 骨格となる大きな緑		
	まりの中で、ビオトープ*	ii)自然環境に恵まれた緑		
	   (生物生息空間)の保全・	iii )歴史的風土に恵まれた緑		
	整備や創出、快適でうるお	iv)快適な暮らしをサポートする緑		
	いある都市環境の創造、都	v)農林業の土台となる緑		
	市気象の緩和など、自然と	vi)多様な生物が生息する市街地の緑		
	の共生や環境への負荷の低	vii)都市の環境を守る緑		
	減に資するような機能の面	viii)きれいな水をつくる緑		
	から見た緑			
レクリエ	多様化するレクリエーショ	i )自然とふれあえる緑		
ーション	ン需要に応え、広域的ある	ii )広域的なレクリエーションの場となる大きな		
	いは日常的なレクリエーシ	緑		
	ョン活動に対処しうるよう	iii )身近なレクリエーションの場となる緑		
	な機能の面から見た緑	iv) ネットワークをつくる緑		
防 災	災害の防止、あるいは災害	i)自然災害に備える緑		
	時における避難場所、避難	ii )火災に備える緑		
	路としての機能の面から見	iii )避難場所・避難路となる緑		
	た緑			
景観形成	市街地を取り囲みその背景	i)郷土の景観をつくる緑		
	となる緑、社寺境内地の樹	ii )地域の景観をつくる緑		
	林などの郷土景観を形成す	iii)眺望点*となる緑		
	る緑、市街地のランドマー	iv)ランドマークとなる緑		
	ク*、シンボルとなる緑な	v)都市の景観をつくる緑		
	ど、特色ある都市景観を形			
	成する機能の面から見た緑			

### (2)4つの視点からの解析・評価

#### 環境保全機能

### ) 骨格となる大きな緑

地形変化に富む本市では、山地、丘陵地、海辺、河川などが緑の骨格を形成する要素です。

- 御堂山~五井山~遠望峰山~三ヶ根山
- 果樹園(ミカン)
- 市街地やその周辺に島状に分布する里山
- 〇 三河湾
- 〇 西田川、落合川、拾石川

### ) 自然環境に恵まれた緑

良好な植物群落、良好な野生生物の生息地、良好な水辺、良好な地形地質を有する地域など、本市の優れた自然を有している緑として、三河湾国定公園に指定される山地や島しょのほか、指定天然記念物や、社寺境内地などに見られる自然林、自然海岸の残る松島遊歩道・橋田鼻遊歩道一帯などがあります。

- 〇 三河湾国定公園
- 国定公園園地(あじさい園地、西浦園地、塩柄園地、三谷温泉園地、竹島園地)
- 指定天然記念物(清田の大クス、八百富神社社叢、三河大島ナメクジウオの生息 地、ヒメハルゼミの生息地、ナギの大木、無量寺の大クス、御堂山のボダイジュ、 三河地震による地割れ)
- 〇 社寺境内地の樹林
- 自然海岸(松島遊歩道・橋田鼻遊歩道一帯)



松島遊歩道

#### ) 歴史的風土に恵まれた緑

本市の誇るべき文化財と一体となった樹林など、優れた歴史的風土に関わる緑として次のものがあります。

- 指定史跡(医王神古墳、権現山古墳、上ノ郷城跡、竹ノ谷城跡、形原城跡、丹野城跡、全福寺跡、門前遺跡隅円方形周溝墓、勝善寺参道石段)
- 指定文化財のある社寺境内地(安楽寺山門、無量寺の大クス)

### ) 快適な暮らしをサポートする緑

市民の快適な生活環境を支える緑として、公園や緑豊かな道路のほか、河川や市街地及びその周辺の樹林などがあります。

- 〇 公園、公共施設緑地
- 〇 社寺境内地の樹林
- 市街地やその周辺に島状に分布する里山
- 〇 西田川、落合川、拾石川
- 街路樹や通りに植栽のある道路
- 公害防止などのために工業地と居住地をわける緑地

### )農林業の土台となる緑

山地や里山には、様々な公益的・多面的な機能を有する樹林地が広がっています。また、丘陵地には、ミカンなどの果樹園が広がっていて、これらは本市の農林業の土台となっているほか、環境保全にも役立つ緑です。

- 〇 御堂山〜五井山〜遠望峰山〜三ヶ根山
- 〇 果樹園(ミカン)

### ) 多様な生物が生息する市街地の緑

都市的土地利用が主体の市街地では、一団の樹林地や河川などの緑は、多様な生物の生息・生育、移動のための貴重な資源であり、その保全とともにネットワーク化など一層の機能充実が必要です。多様な生物の生息・生育、移動を支えている緑として、次のものがあります。

- 〇 社寺境内地の樹林
- 市街地やその周辺に島状に分布する里山
- 〇 三河湾
- 〇 西田川、落合川、拾石川
- 水路・ため池
- 街路樹や通りに植栽のある道路
- 〇 市街地周辺の農地

### )都市の環境を守る緑

市街地背後の山林や三河湾は涼しい空気の供給源となっていて、河川や緑豊かな道路は新鮮な大気を市街地へ送り込む"風の道"として機能しています。また、市街地内の公園や一団の樹林を有する社寺境内地などが都市環境の保全・改善に重要な役割を果たしています。これらの緑は、ヒートアイランド現象の緩和など、都市環境の保全・改善に役立つ緑です。

- 市街地やその周辺に島状に分布する里山
- 〇 市街地周辺の農地
- 〇 三河湾
- 〇 西田川、落合川、拾石川
- 街路樹や通りに植栽のある道路
- 市街地内の公園、公共施設緑地
- 〇 社寺境内地の樹林
- 公害防止などのために工業地と居住地をわける緑地

#### ) きれいな水をつくる緑

市街地背後の山林は、表土の特性により雨水の地下浸透量を増加させ、水源のかん養機能を高めるほか、汚濁物質の河川への流入を防止するなど水質保全に優れた機能を有しています。

- 〇 御堂山〜五井山〜遠望峰山〜三ヶ根山
- 〇 西田川、落合川、拾石川

### レクリエーション機能

#### ) 自然とふれあえる緑

自然志向や交流志向、体験型レクリエーション志向など、自然とのふれあいに対する ニーズが高まる中、景勝地竹島をはじめとする国定公園園地や三河湾と山の風景などは、 これらのニーズに対応する緑となっています。また、これらの自然環境が主要な観光資 源にもなっており、観光交流の促進による地域活性化の面からも保全・整備の必要性が 高くなっています。

さらに、土とのふれあいや安全な"食"への関心の高まりから、市民農園に対するニーズが高まっており、市街地における遊休農地\*の活用の面からも、その増進が必要です。

- 国定公園園地(あじさい園地、西浦園地、塩柄園地、三谷温泉園地、竹島園地)
- 海辺の公園・緑地(海陽ヨットハーバー、竹島埠頭緑地、大塚海浜緑地、北浜公園、春日浦公園)
- 里山の公園・緑地(さがらの森、とよおか湖公園、中央公園、橘丘里山緑地)
- 〇 市民農園(角田、名取、月田市民農園)

### ) 広域的なレクリエーションの場となる大きな緑

全市民のレクリエーションの場となっている大きな緑として、総合公園である中央公園、大塚海浜緑地、蒲郡緑地があります。また、双太山公園は近隣公園ですが、隣接の公園グランドと一体となって大規模なレクリエーション空間を形成しています。また、本市隣接地には、東三河ふるさと公園や愛知こどもの国といった愛知県の設置する大規模公園があり、蒲郡市民にも広く利用されています。また、国定公園園地や海辺も広域的なレクリエーションの場になっています。

- 大規模公園・緑地(中央公園、蒲郡緑地、大塚海浜緑地)
- 大規模運動広場・グランド(海陽多目的広場、公園グランド、全天候ゲートボール場、浜町仮設ソフトボール場)
- 隣接市町の広域公園(東三河ふるさと公園、愛知こどもの国)
- 国定公園園地(あじさい園地、西浦園地、塩柄園地、三谷温泉園地、竹島園地)
- 〇 三河湾

### ) 身近なレクリエーションの場となる緑

徒歩圏域におけるレクリエーションの場となっている緑として、市内各地に配置されている街区公園などの住区基幹公園\*や、児童遊園、グランドなどがあります。

公園などの身近な緑を親しみのあるものとするため、市民・事業者・行政の協働による緑の保全や緑化の推進への取組が必要です。

- 都市公園、その他の公園
- 〇 児童遊園、グランド、学校校庭
- 〇 民間施設緑地(社寺境内地)

### ) ネットワークをつくる緑

近年の健康志向の高まりに伴い、散歩やウォーキングなどを楽しむ市民が増えている ため、緑豊かな道路の歩道や河川、海辺の通りなどは、快適に歩けるような歩行者空間 の確保が必要です。

- 〇 西田川、落合川、拾石川
- 街路樹や通りに植栽のある道路
- 〇 三河湾

### 防災機能

### ) 自然災害に備える緑

本市には、土砂災害特別警戒区域\*や砂防指定地\*、急傾斜地崩壊危険区域\*などの法規制区域があり、こうした場所の森林や河川、市街地内の公園などは、自然災害の防止に貢献する緑です。

- 〇 西田川、落合川、拾石川
- 御堂山~五井山~遠望峰山~三ヶ根山
- 市街地内の公園、公共施設緑地

### )火災に備える緑

震災などによる火災発生時には、河川や公園、緑化された幹線道路、緩衝緑地\*などの緑が、延焼防止や落下物飛散防止、構造物の倒壊防止などに役立ちます。特に東海・南海・東南海連動型地震\*に対する備えとして、緑の確保が必要です。

- 〇 西田川、落合川、拾石川
- 市街地内の公園、公共施設緑地
- 街路樹や通りに植栽のある幹線道路
- 災害防止などのために工業地と居住地をわける緑地

#### ) 避難場所・避難路となる緑

震災など緊急時の避難場所となる緑として、一時的に避難する避難場所に指定されている公園や小・中学校の校庭などがあります。また、避難場所まで安全に移動できる避難路として、緑化された幹線道路などが重要な役割を果たします。

- 公園、学校校庭
- 〇 西田川、落合川、拾石川
- 街路樹や通りに植栽のある幹線道路

#### 景観形成機能

### )郷土の景観をつくる緑

本市を代表する郷土景観を構成する緑として、国定公園に指定される山地の山並みや竹島、三河大島などの島しょ、及び丘陵地に広がる果樹園の景観があります。

また、観光のまちとしての代表的な景観要素に4つの温泉郷やラグーナ蒲郡があり、周辺の緑地を含めて一層魅力ある景観形成が必要です。また、東名高速道路音羽蒲郡ICや今後開通する一般国道23号バイパス蒲郡ICと竹島を結ぶオレンジロードや一般国道23号バイパス蒲郡西ICと市中心部を結ぶ都市計画道路竹谷柏原線は、本市の主要なアクセス道路であり、観光振興の面から重要な景観軸となります。また、蒲郡駅も公共交通機関による本市の玄関口として、景観的に重要な拠点と言えます。

- 〇 御堂山〜五井山〜遠望峰山〜三ヶ根山
- 〇 三河湾
- 〇 竹島、三河大島
- 〇 果樹園(ミカン)
- 国定公園園地(あじさい園地、西浦園地、塩柄園地、三谷温泉園地、竹島園地)
- ラグーナ蒲郡
- 幹線道路(オレンジロード、都市計画道路竹谷柏原線)
- 蒲郡駅周辺(都市計画道路蒲郡港線を含む)

#### )地域の景観をつくる緑

文化財と一体となった緑や社寺境内地は、各地区の景観を特徴づけ、また、住民の生活や文化に根ざした重要な緑です。

また、公園や緑豊かな道路などは、各地区の緑の拠点や軸を構成する緑です。

- 〇 西田川、落合川、拾石川
- 指定文化財のある社寺境内地(安楽寺山門、無量寺の大クス)
- 〇 民間施設緑地(社寺境内地)
- 〇 公園、公共施設緑地
- 国定公園園地(あじさい園地、西浦園地、塩柄園地、三谷温泉園地、竹島園地)
- 街路樹や通りに植栽のある道路

### )眺望点となる緑

地形変化に富む本市には、市街地や三河湾を一望できる眺望点が多くあり、特に五井 山山頂や弘法山、とよおか湖公園などから望む眺望景観が知られています。また、一般 県道蒲郡環状線(旧三河湾スカイライン)や三ヶ根山スカイラインといった道路や、中 央公園、双太山公園、上ノ郷城跡なども眺望を楽しめるスポットになっています。

- 〇 五井山山頂、弘法山
- とよおか湖公園、中央公園、双太山公園
- 一般県道蒲郡環状線(旧三河湾スカイライン)、三ヶ根山スカイライン
- 〇 上ノ郷城跡





五井山山頂からの眺望

双太山公園に設置された展望台

### ) ランドマークとなる緑

丘陵地に広がる果樹園や島しょは、本市の景観のランドマークとなる緑です。特に、 竹島や三河大島、自然海岸の残る松島遊歩道・橋田鼻遊歩道一帯は、海辺の景観のシン ボルとなっています。

- 〇 果樹園(ミカン)
- 〇 竹島、三河大島
- 自然海岸(松島遊歩道・橋田鼻遊歩道一帯)

#### )都市の景観をつくる緑

都市景観の向上に寄与している緑として、市街地の緑の拠点となる公園をはじめ、緑のネットワークの軸となる街路樹、河川などがあります。また、工場立地法\*に規定される緩衝緑地など民有地の緑は、風格のある美しい都市景観の創出に重要な役割を果たしています。

- 〇 公園、公共施設緑地
- 街路樹や通りに植栽のある道路
- 〇 西田川、落合川、拾石川
- 工業地と居住地をわける緑地
- 施設周りの植栽(公共施設、大規模民間施設)

### (3) 総合的な解析・評価

#### 緑をめぐる社会動向

### 自然とのふれあいを求めるニーズに対応する緑

近年の自然志向や交流志向、体験型レクリエーション志向など、自然とのふれあいに対するニーズが高まっています。市民意向でも「海などの自然が豊か」な生活環境が強く求められていて、身近な自然に対する意識の高さがうかがえます。景勝地竹島をはじめとする国定公園園地や三河湾と山の風景などは、これらのニーズに対応する緑です。

### 地域活性化に向けた交流人口の増加に対応する緑

人口減少社会での地域活性化の方策の1つとして、交流人口の増加があります。観光のまちである本市は、広域的な集客性を持つ海洋性レジャー・レクリエーション施設などが多数あり、これらは交流人口の増加による地域活性化に向けた重要な資源です。

### 温暖化など環境意識の高まりに対応する緑

温暖化など地球規模での環境変化に対する市民の意識が高まる中で、緑はヒートアイランド現象の緩和など、都市環境の改善に貢献しています。"風の道"となる河川や緑豊かな道路での緑のネットワークづくりや、市街地及びその周辺での緑の保全や緑化の推進が重要です。

#### 災害の防止・軽減に対応する緑

災害に強いまちづくりでは、自然災害を防止する山林、災害時に避難場所となる公園、避難路となる緑化された幹線道路、延焼防止に役立つ緩衝緑地や河川などの緑の保全や緑化の推進が重要です。

### 都市の緑の構造

#### 本市の骨格を形成する緑

本市の骨格を形成する緑として、御堂山~五井山~遠望峰山~三ヶ根山の山地、果樹園の広がる丘陵地、三河湾が東西方向に扇状に連なり、山地から三河湾に向かって流れる幾筋もの中小河川が、市街地を縦断しながら、山地、丘陵地、海辺の緑を結びつけています。また、市街地及び市街地周辺において島状に分布する里山は、身近な自然の緑として親しまれる存在になっています。

#### 幹線道路などの緑

市街地で街路樹などにより緑化された幹線道路は、生活環境や景観にうるおいを与え、また、震災などの災害時には火災延焼の防止や安全な避難路としても重要です。また、各地域に分散する観光資源などのネットワークづくりでも、重要な軸となります。特に、本市の主要なアクセス道路となるオレンジロードと都市計画道路竹谷柏原線、公共交通機関による本市の玄関口となる蒲郡駅周辺などは、観光振興の面からも緑豊かな景観形成が重要です。

### 週末のレクリエーション利用などに対応する中核的な公園・緑地

大規模公園・緑地として、市中心部に中央公園、東部に大塚海浜緑地及び多目的広場があります。また、西部に双太山公園と公園グランドが一体となったレクリエーション空間、臨海部工業地(浜町)に蒲郡緑地、本市隣接地に、東三河ふるさと公園や愛知こどもの国といった愛知県の設置する公園・緑地があります。多様化する市民ニーズに対応するため、緑の保全や緑化の推進が必要です。

### 日常的なレクリエーション利用などに対応する身近な公園・緑地

街区公園などの住区基幹公園や、児童遊園、グランド、社寺境内地などは、住民の日常的なレクリエーション利用などに対応する身近な公園・緑地です。身近な公園・緑地を親しみのあるものとするため、市民・事業者・行政の協働による緑の保全や緑化の推進への取組が必要です。



俊成園(竹島園地)

### (4)緑の課題の整理

### 骨格的な緑の保全と活用

### 山地、海辺の保全と活用

国定公園の御堂山~五井山~遠望峰山~三ヶ根山の山地や、竹島、三河大島を含む島しょは本市の骨格的な緑であり、豊かな自然環境に加えて観光レクリエーション資源としても重要です。この骨格的な緑を体験型レクリエーションの場などとして活用するとともに、生物生息の場や郷土景観として保全する必要があります。

### 農地、里山の保全と活用

果樹園などの農地や里山が広がる丘陵地の緑は、地域の景観を特徴づけるとともに、多様な生物生息の場であることから、人と自然との共生のために保全が必要です。特に、市街地やその周辺に島状に点在する里山は、緑のネットワークづくりの拠点として保全する必要があります。



竹林化の進む里山

### 河川の保全と活用

西田川、落合川、拾石川などの河川は、市街地を縦断して、山地、丘陵地の内陸の 緑と海辺の緑を結び、多様な生物生息の場や移動経路となる重要な緑であり、また、 住民が身近に自然とふれあえる貴重な地域資源です。河川沿いの樹林地や農地と一体 的に緑を保全し、親水性の向上や水質浄化により、水と緑のネットワークづくりを進 める必要があります。

### 交流人口の増加に向けて都市の魅力を高める緑の創出

#### 観光交流の拠点として魅力を高める緑づくり

景勝地竹島から市の玄関口である蒲郡駅にかけての一帯は、竹島水族館をはじめ数多くの観光資源が集積する観光交流の拠点です。また、ラグーナ蒲郡は年間300万人規模の集客を有する本市最大の観光施設です。観光交流の拠点では、観光客に本市のイメージを印象づけるため、一層の魅力向上に向けて緑化を進める必要があります。

### 地域の魅力を高める緑豊かな温泉郷づくり

弘法山、あじさい園地、松島遊歩道・橋田鼻遊歩道、西浦園地などは、温泉郷を核とする地域の魅力を高める緑として重要であり、温泉郷一帯では、緑の保全・創出や体験型レクリエーション的活用を図る必要があります。

### 主要なアクセス道路の景観づくり

東名高速道路音羽蒲郡ICや今後開通する一般国道 23 号バイパス蒲郡ICと竹島を結ぶオレンジロード、及び一般国道 23 号バイパス蒲郡西ICと市中心部を結ぶ都市計画道路竹谷柏原線は、本市の主要なアクセス道路であり、通りに広がる果樹園などの景観の保全や緑豊かな道路づくりを進める必要があります。

### 海辺の観光資源を結ぶネットワークづくり

竹島や温泉郷など海辺に多くの観光資源を有する本市では、観光レクリエーションの魅力を更に高めるため、海辺の道路を活用し、道路緑化や快適に歩けるような歩行者空間の確保などにより、観光資源を結ぶネットワークづくりを進める必要があります。

### 市民の快適で安全な生活を支える公園などの充実

#### 中核的な公園・緑地の充実とネットワークづくり

市中央部には中央公園、東部にはラグーナ蒲郡周辺に大塚海浜緑地及び海陽多目的 広場、西部には双太山公園及び公園グランドがあり、中核的な公園・緑地はバランス 良く配置されています。今ある公園・緑地では、市民のニーズに対応した施設内容の 充実や、各公園・緑地間のネットワークづくりを進める必要があります。

ネットワークの主軸となる一般国道 247 号バイパスの整備では、緑化の推進など移動の快適性を確保する必要があります。

### レクリエーション機能や防災機能のある身近な公園づくり

身近な公園・緑地として、街区公園などの住区基幹公園が計画的に整備されています。身近な公園・緑地は、日常的なレクリエーションの場となるだけでなく、災害時には一時的な避難場所となるため、児童遊園など今ある施設を含め、保全・活用を進める必要があります。

#### 市街地での緑化の推進

市街地の緑は、生活にゆとりやうるおいを与えるだけでなく、ヒートアイランド現象の緩和や、災害時における火災の延焼や落下物の飛散、構造物倒壊などの防止、安全な避難場所や避難路の確保などに貢献しています。市街地では、公共空間や民有地でも緑化を進める必要があります。

### 自然と調和した都市づくり

一般国道 23 号バイパス、一般国道 247 号バイパスなどの幹線道路網の整備、都市計画マスタープランでの市街地拡大など、新たな都市づくりでは、自然環境や景観への影響に十分配慮し、周辺環境との調和を図る必要があります。

### 計画課題図

